

担当教員 上羽 陽子	Instructor Name UEBA Yoko			
開講期 前学期	Class Starts at 1 st Semester	開講期間 半期	Period One Semester	対象年次 / Suggested Grade 3,4,5
科目コード / Subject Code 20DCSc05		単位 / Credit 2		
科目名称： 比較技術研究演習 II		Subject: Seminar II (Anthropology of Technology)		
<p>授業概要：</p> <p>染織技術の比較研究 / 講義と演習</p> <p>A Comparative Study of Textile Technique / Lecture and Seminar</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 染織技術に関する実験的試作に取り組み、自らが対象とする染織技術の技術的特徴を把握し、それらの技術を生みだした社会的背景を省察し、比較技術研究をおこなう。 				
<p>教育目標・目的：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 染織分野における工芸材料学に関する基礎的な知識を理解し説明することができる ・ 染織技術およびそれらを支える素材や道具を正確に記録することができる ・ 染織文化がなりたつ周辺の社会状況を把握することができる ・ 調査対象の染織技術の特徴を正しく説明することができる 				
<p>授業計画：</p> <p>毎週木曜日：15時～17時</p> <p>実験と討論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 植物繊維素材を把握する 3. 動物繊維素材を把握する 4. 糸を理解する 5. 織組織を把握する 6. 染料と顔料との違いを把握する 7. 天然染料と化学染料との違いを把握する 8. 単色性染料と多色性染料を理解する 9. 染織技術の特徴についてーその1 10. 染織技術の特徴についてーその2 				
<p>成績評価：</p> <p>授業での平常点（30%）とレポート提出（40%）、実験的試作（30%）により評価する。</p>				
<p>実施場所：</p> <p>国立民族学博物館 4階 生活科学実験室</p>				

使用言語：

日本語

教科書・参考書：

特になし。必要に応じて授業内で指示する。

備考：日本語

染織技術もしくは染織文化を調査対象にしている学生のみ履修可。

実験的試作に必要となる繊維素材・染材等は各自が実費負担すること。